

平成29年度 学校図書館教育全体計画

大田市立五十猛小学校

○日本国憲法 ○教育基本法 ○小学校学習指導要領 ○学校図書館法 ○第2期しまね教育ビジョン	学校教育目標 ふるさとを愛し、心豊かに、自ら学び、たくましく生きぬく子どもの育成 ○ ふるさとを愛し、心豊かな子 ○ 自ら学ぶ子 ○ たくましく生きぬく子	○児童の実態 ○保護者の願い ○地域の実態 ○教師の願い ○現代社会の要請
--	--	---

学校経営の重点
○ 体験活動や協同活動を通して、豊かな人間性を育む。地域の伝統に学び、ふるさとを愛する心と態度を育む。
○ 進んで学び、考える力、表現する力を育む。
○ 運動や健康な生活実践を通して、望ましい生活習慣を確立し、健やかな心身を育む。
○ 家庭、地域と連携し、地域の教育力を生かした教育活動を充実させるとともに、みんなの元気の源となる学校を創る。

学校図書館教育の目標
○図書館に親しみ、読書を楽しむことを通して、豊かな人間性と感性を育てる。
○図書館を活用することを通して、意欲的に学び、情報を活用する能力を育てる。

学校図書館教育指導の重点
○読書センターとして、子ども達が進んで読書に親しみ、豊かな心と感性が育つよう、読書指導・環境整備に努める。
○教育課程に位置付けた学校図書館の利用を計画的に実施する。
○学校図書館を活用した学習を通じ、情報活用能力の育成を図る。

1・2年	3・4年	5・6年
*学校図書館の活用の仕方の基本的な知識を身に付ける。	*進んで学校図書館を活用しようとする態度を培い、楽しく資料や情報を集め、生かすことができるようとする。	*積極的に学校図書館を活用しようとする態度を培い、計画的に資料や情報を集め、適切に生かすことができるようとする。
*技能・態度を培い、喜んで資料の活用ができるようとする。		
*やさしい読み物に興味をもち、楽しんで読書しようとする態度を育てる。	*いろいろな読み物に興味をもち、幅広く読書しようとする態度を育てる。	*適切な読み物を選び、読書を通して考えを広めたり深めたりしようとする態度を育てる。

各教科	道徳	外国語活動	特別活動	総合的な学習の時間	課外
*調べ学習の進め方を身に付ける。 *図書館の資料を活用した学習を通して情報を検索・収集・処理・発信する能力を養い、自主的な学習態度を身に付ける。	*資料を読み深めることにより、感動をもち、自分の生活を見つめる。 *自分と違う考えを尊重し、正しく判断する。	*学校図書館の資料を活用し、外国の言語や文化の理解を深める。 *調べ学習の取材・発表を通し、コミュニケーション能力の素地を養う。	*学級活動を通して、学校図書館の利用や情報の適切な活用方法を身に付ける。 *図書委員会において、自分たちの仕事を協力し合い、自主的に実践する態度を育てる。	*課題の追究・解決にいろいろな資料を活用しながら、多様な方法で取り組むことで、さらに情報活用能力を伸ばす。 *積極的に資料を活用する。	*朝読書の実施で習慣化を図る。 *読み聞かせ、ブックトークなどで読書意欲を高める。 *図書館行事、児童会行事などにより、図書館利用を促す。

↑ 利用指導	↑ 資料整備	↑ 読書指導	↑ 家庭・地域との連携
*図書館活用年間計画に従って正しい利用指導を行う。(司書教諭・学校司書との連携) *資料を使って調べようとする学習態度づくりを推進する。	*教科や総合的な学習の時間に生かすコーナー作りを進める。 *郷土にある学習資料の収集を行う。	*読書の日常化を図る指導を工夫する。 *購入希望図書の選定を行う。 *読書タイムの指導を行う。	*地域ボランティアの協力を得ながら、読書環境の充実を図る。 *公共図書館との連携を密にし、図書の充実を図る。 *家読を推進する。